

3. 著書 (抄録)

レジオネラ感染症の基礎 水口康雄, LIP, 潜伏・持続感染微生物と宿主の反応, 第2巻 (倉田, 天野編), pp57-70, 菜根出版, 1996

最近話題の感染症の1つであるレジオネラ症の原因微生物, レジオネラと宿主との相互関係について, 主として著者らの研究成果をまとめた。採取されたマクロファージ内における本菌の増殖の程度と個体レベルの感受性は動物種により異なること, その違いの原因の1つはインターフェロン γ の誘導の差によるものであること, 宿主側の遺伝子により菌の増殖が影響を受けること, 2-デオキシ-D-グルコースによる細胞内増殖に対する影響, 菌の細胞壁に存在する蛋白遺伝子のクローニングとこの蛋白の病原性への関与などについて述べた。